

## Rad52 タンパク質 (ヒト)

10-003 20  $\mu$ g, 10-004 100  $\mu$ g

ヒトの **Rad52 タンパク質** (分子量 46,169) は酵母の Rec52 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において重要な役割を果たし、相補的な単鎖 DNA をアニールする反応を促進する機能をもっている (文献 1)。**Rad52** は Rad51, Dmc1, RPA などと複合体を形成して、組換え反応に関与している。ヒト **Rad52 タンパク質** は細胞を X 線照射すると c-Abl チロシンキナーゼによって Tyr104 がリン酸化されて、核でフォーカスを形成するようになる (文献 2)。

本品は大腸菌で組換え体タンパク質として発現させて、高度に精製したヒト Rad52 タンパク質で、Tag は切除してある (図 1)。

### 用途

- 1) ヒトを含む高等動物での相同組換えの研究
- 2) 免疫沈降実験によって、Rad52 タンパク質と種々のタンパク質との相互作用が同定出来る
- 3) ウェスタンブロット法等で Rad52 抗原のコントロールとして使える

### 製品の性質

純度: SDS-PAGE による解析で 90%以上の純度 (図 1)

性状: 1.0 mg/ml in 20 mM potassium phosphate pH7.5 ,

200 mM KCl, 2mM 2ME, 0.5 mM EDTA, 20% glycerol

保存: ドライアイスを入れて輸送、-80°Cで保存 (分解しやすい)

データリンク Swiss-Prot [P43351](#)

文献: この製品は文献 3 で使用されている。

1. Friedberg EC *et al.* *DNA Repair and Mutagenesis* 2<sup>nd</sup> ed., ASM Press (2006)
2. Kitao H & Yuan Z M "Regulation of ionizing radiation-induced Rad52 nuclear foci formation by c-Abl-mediated phosphorylation." *J. Biol. Chem.* **277**: 48944-48948 (2002) PMID: [12379650](#)
3. Kagawa W *et al.* "Homologous pairing promoted by the human Rad52 protein." *J. Biol. Chem.* **276**: 35201-35208 (2001) PMID: [11454867](#)

関連商品: 商品コード 70-011 抗 Rad52 (ヒト) 抗体、affinity 精製ウサギ抗体

商品コード [10-001](#) Rad51 (ヒト) タンパク質

商品コード [70-001](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体 ウサギ抗血清

商品コード [70-003](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体 ニワトリ抗血清

商品コード [70-005](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体 ニワトリ IgY

商品コード [70-007](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体 ニワトリ IgY-conjugated resin

商品コード [70-009](#) 抗 Rad51 (ヒト) 抗体 IgY, antigen affinity purified

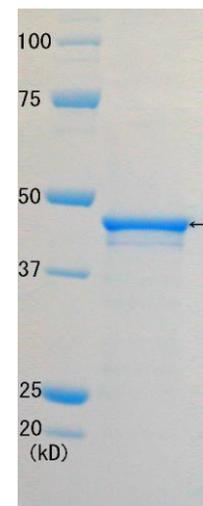


図 1. 精製したヒト Rad52 タンパク質の SDS-PAGE による解析  
矢印が Rad52 タンパク質を示す。  
下の薄いバンドは分解産物と考えられる。